



# 災害ゼロに向けた リスクアセスメントの取り組み





# 目次

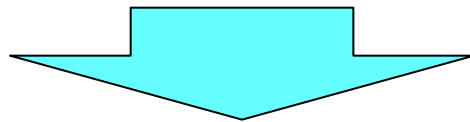
1. トップ自らが考え行動する
2. 安全人間づくり
3. 職場安全環境づくり
4. まとめ

1. トップ自らが考え行動する ①



## 安全に対する意識変革

1. 安全はマネジメントそのもの
2. 安全は全員参加
3. 再発防止型から未然防止型へ



OSHMSを認証取得する

# 1. トップ自らが考え行動する ②



## 安全衛生方針

### 安全衛生理念

当社は、事業活動のあらゆる面で、働くすべての人及び作業によって、安全と衛生を優先に考え、活動します。

### 安全衛生方針

1. 事業場における危険又は有害要因を特定し、リスク（危険源）低減活動を図ります。
2. 労働安全衛生・道路交通法に関する法律及び社内規則・協定等を遵守します。

1. 事業場における危険又は有害要因を特定し、リスク低減活動を図ります  
**（リスクアセスメントを実施します）**

6. 労働安全衛生方針は、求めに応じて一般に情報公開します。



# 2. 安全人間づくり ①

## 社員教育

### リスクアセスメントスケジュール

活動項目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
リスクアセスメントの導入宣言	●											
実施体制の整備	●											
リスクアセスメントの情報収集 (責任者等が研究会へ参加)		●	→									
実施手順書(評価基準)の作成												
関係者への説明・教育 (管理監督者との会議等)				●	→							
従業員への周知・教育				●			●					
リスクアセスメントの導入・実施									●			
リスク低減措置の検討										●	●	
リスクアセスメントの完了												●



**リスクアセスメントを知る  
(全員参加の階層別教育)**



## 2. 安全人間づくり ②



# 演習と実践

## 小集団活動



皆で考える  
(全員発言)



# 運輸業に合うように一部見直し

## 『事故』が発生した時のケガの重大性

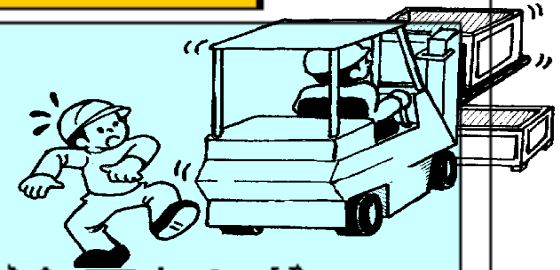
評価値	内容
A	死亡
B	重傷
C	軽傷

### 【ケガの重大性・内容の目安】

A: 「死亡」・・・即、死亡に繋がるようなケガ

B: 「重傷」・・・死亡にはならないが入院等が必要なケガ

C: 「軽症」・・・入院や加療の必要がないようなケガ





## リスクの抽出

リスクを抽出する3本柱を決定

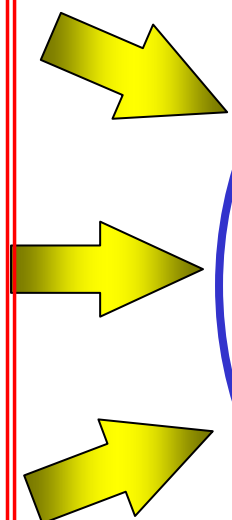
①作業要領書

②変化点管理

③ヒヤリハット

リスクアセスメント

排除・改善





## 2. 安全人間づくり ⑥



# 作業要領書

作業No.	1	作業名	輪止め脱着	<b>作業要領書</b>	部長	課長	係長	作成
工程No.	1	工程名	輪止め飛散防止		安全品質管理部			
Nb.	作業手順				作業の急所	制定日	平成 21 年 10 月 1 日	
	輪止め取り付け				図 解 - 急 所			
1	(図1)のコードを『梶・輪止め確認ヨシ』札へ(図2)の楕円リングを利用してフックで繋ぐ							
2	車両から降りる際はサイドブレーキを掛けてエンジンを停止しギヤをローまたはバックへ入れる			・後ろ向きに降車 ・手摺を持って足元確認				
3	車両の運転席ドアノブへ札を掛ける (図3)							

# 作業手順の中にリスクは無いかな？

10	『梶・輪止め確認ヨシ』札をドアノブから外す(図3)		
11	車両へ乗車しギヤをニュートラルの位置へ戻す	・手摺を持って足元確認	
12	周囲の安全確認をしてエンジン始動する ※トヨタ自動車物流課指示により輪止め取り外し時の油漏れ確認を追記いたしました。 ※乗り継ぎ車両と予備車両は輪止めロープとS字管をホイールに掛けるのみ。		

安全遵守事項	[この作業に必要な指名業務許可証]	運転免許証
	[異常処置のルール]	止める・呼ぶ・待つ
	[必要な保護具]	ヘルメット・手袋・安全ベスト
	特記事項	
	[異常時の連絡先]	

作成	年月日	NO	改訂内容	改訂理由
白濱	平成21年11月30日	8	輪止め取り外し時の油漏れ確認を追記	トヨタ物流課指示により



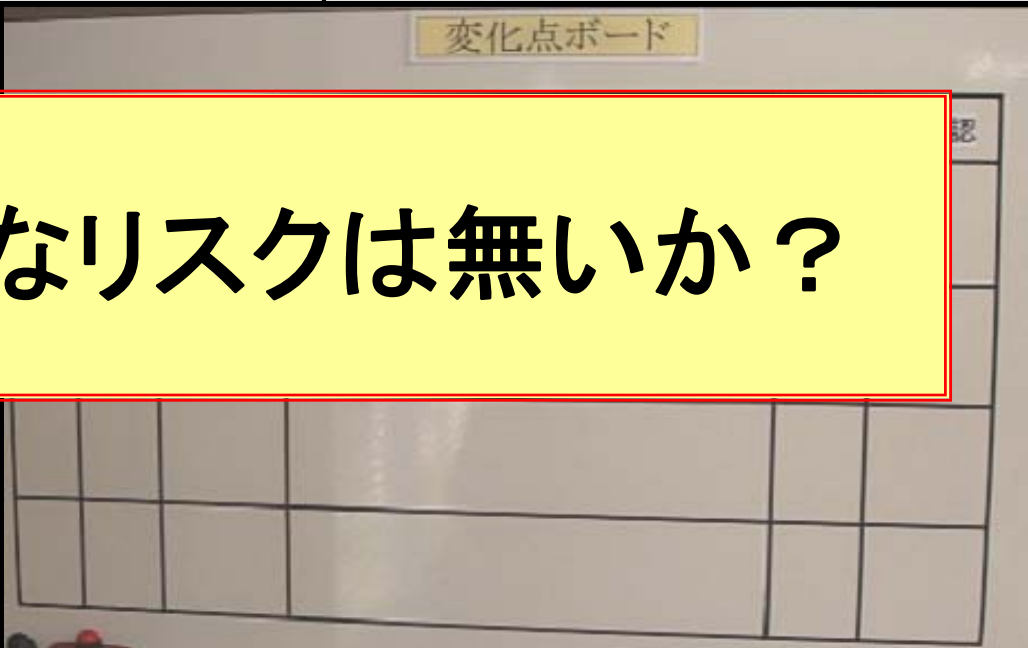
## 2. 安全人間づくり ⑦

# 変化点管理

業務連絡 → 変化の見える化

■業務連絡内容	
■変化点詳細	
①	集荷 <span style="float:right">ダイヤ変更 なし 積付け変更 あり</span>

変化点	メラ～平岩鉄工所向け、eかんばん化に伴いかんばん表記変更 ※織機碧南にてかんばん発行
変更日	12月5日



変化による新たなリスクは無いか？

立会							
チェク							
②							
変							
変							
立会い日程	日にち	場所					
チェック項目	ステーション設定	変更履歴確認	積付更新	ルート一覧更新	配車一覧原紙更新	LMSマスタ変更	基
	不要	完了	完了	不要	不要	不要	

③	納入		ダイヤ変更					なし
変化点	メラ～平岩鉄工所向け、eかんばん化に伴いかんばん表記変更 ※織機碧南にてかんばん発行							
変更日	12月6日							
立会い日程	なし							
	日にち	場所					確	
チェック項目	ステーション設定	変更履歴確認	積付更新	ルート一覧更新	配車一覧原紙更新	LMSマスタ変更	基	
	不要	完了	完了	不要	不要	不要		

## 2. 安全人間づくり ⑧



# ヒヤリ・ハット

U-netrans

### ヒヤリ・ハット提案 危険箇所提案

(いずれかに○を付けてください)

所長	課長	担当C/L	G/L	T/L

記入日	所属氏名	チーム名	社員番号	氏名
10月 6日 水曜日		安品	11034	

10月 6日 水曜日

ルート

発生日 10月 6日(水曜日) 15時 15分頃 天候 晴れ

場所 みよしBC北西角交差点

(ヒヤリハット状況概要) (状況の図)

みよしBCへ向かって入るときに軽車4tが左折しようとした時に左方向より大型車が右折の為急いで止まっていた時に後続のバイクが4tの右側を追い越して我に出た時に大型がすでに交差点に入りバイクの前方を塞ぐように右折をしました。バイクは一瞬バランスをくずしましたがなんとか、

見落とししたリスクは無いか？

リスク評価値記入欄を追加

止まってくれている車の右側からバイク、車などが来ないかを確認してから右折をするようにしてもらいたい。

職制コメント	氏名	印	回答	月	日

評価値(※1)	頻度	可能性	重大性	リスクレベル	リスクアセスメント用紙への記入 <input type="checkbox"/> 記入あり…アセスメントの順次実施 <input type="checkbox"/> 記入なし…記入後アセスメント実施	ファイルNo.
	8	7	A	Ⅲ		

本人 → TL → GL(確認) → CL → 課長 → 所長 → CL → ファイル

▲ (※3) (※2)

提出者と話し合い評価値記入 → リスクアセスメント用紙への記入(ルート担当者 TL/GL)

未記入での放置、及び上司への提出は厳禁

印刷No. UT-48135

## 2. 安全人間づくり ⑨



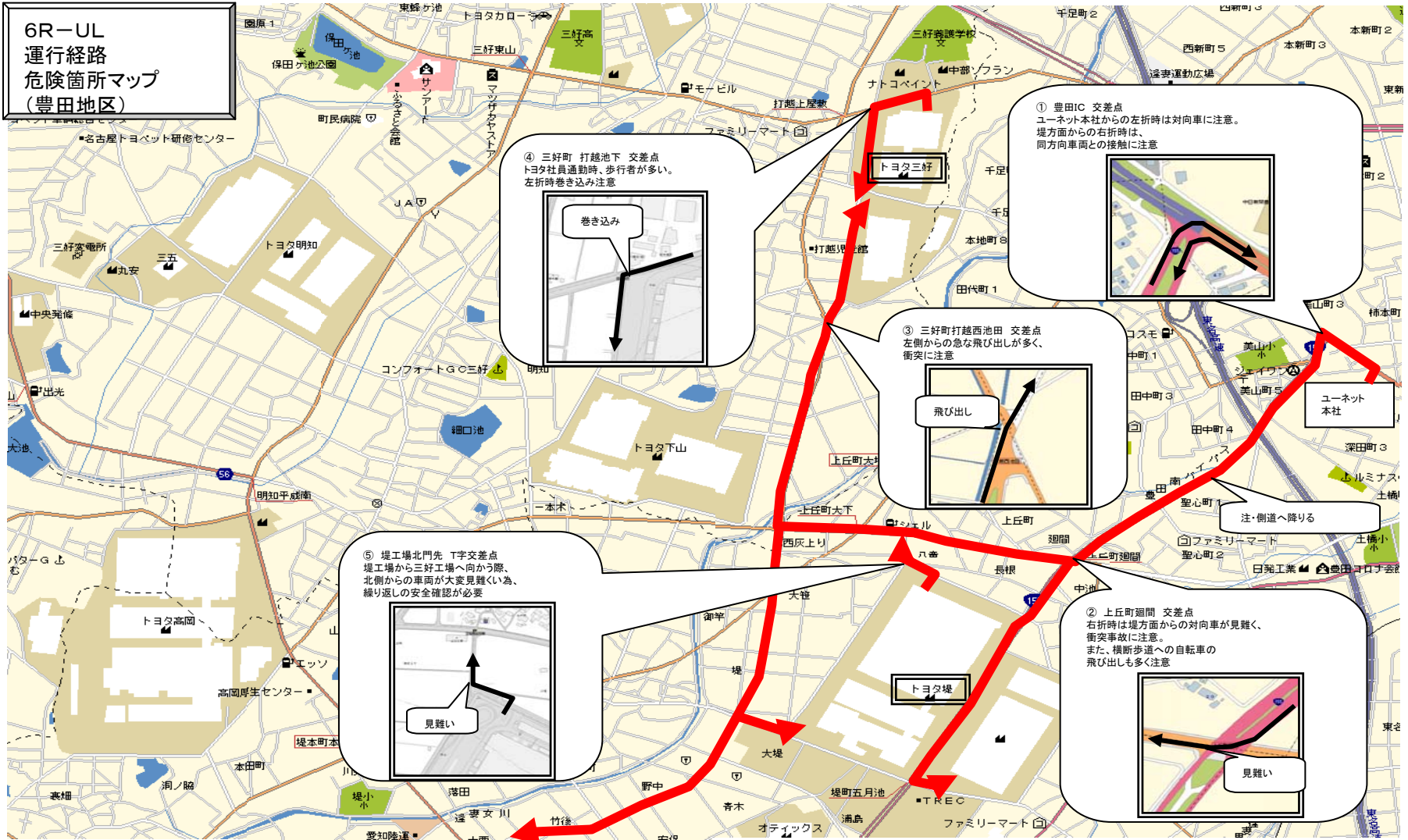
### リスクアセスメント用紙

No	作業分析			リスク評価											
	作業項目	1回 / 日	作業形態	対策前				対策後							
				リスクの内容	発生頻度	ケガの可能性	ケガの重大性	対策前リスクレベル	対策内容	発生頻度	ケガの可能性	ケガの重大性	対策後リスクレベル	優先順位	実施日
①	■■■■■構内作業レーンに製品を置き後退して方向転換する	5	リフト業務	リフト後方に死角が有る為、後退時に通行中の人に接触	6	7	B	III	作業場と通行帯の分離を実施した。	2	1	B	I	2	4/19
②	豊田市上丘町廻間交差点(右折)	2	運転業務	三好、明知工場への右折時は、対向車が非常に見難い 横断歩道へ自転車が急に飛び出してくることがある。	2	10	A	III	対向車が完全にいない事が確認出来るまで右折しない 周囲を確認し歩行者自転車を優先する 前車の死角を考えた行動をとる 譲り合い運転を心掛ける	2	10	A	III	1	4/5

# 2. 安全人間づくり ⑩



## 注意喚起







# 2. 安全人間づくり ⑪

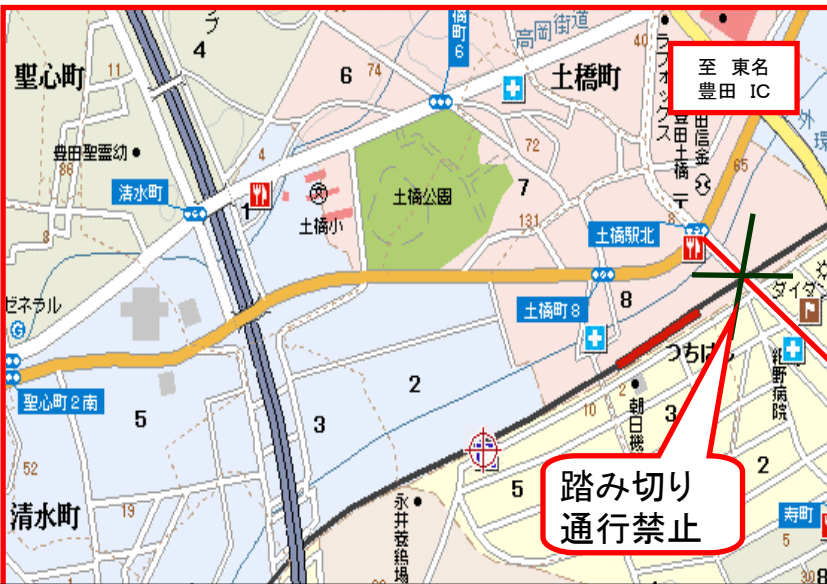
## 運用で危険回避

豊田地区 交通規制(自主:荷主:町内要請等)

### 土橋町の踏み切り

#### 通行禁止

- ※ 横道出入り車両で道路混雑
- ※ 踏み切り段差有り
- ※ 踏み切り横側道に入る車両



豊橋地区 交通規制(自主:荷主:町内要請等)

### 白鳥～為当 昼夜通行禁止

- ※ 危険防止 通学自転車多い
- ※ 危険防止 道幅狭い







## 情報共有

会社の方向性  
事例を通じた情報共有

研修会



小ミーティング

全員参加  
皆で考える ⇔ 自ら考える  
将来に生かす



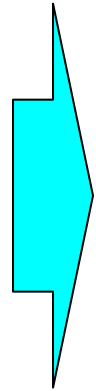


### 3. 職場安全環境づくり ①

## トラックの改造-1

# 左折巻き込み防止

改善前



改善後



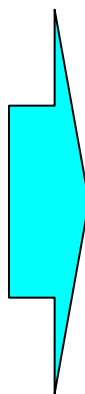
### 3. 職場安全環境づくり ②



## トラックの改造-2

死角を減らす

改善前



改善後



### 3. 職場安全環境づくり ③



## トラックの改造-3

危険を知らせる



左へ  
曲がります

バック  
します



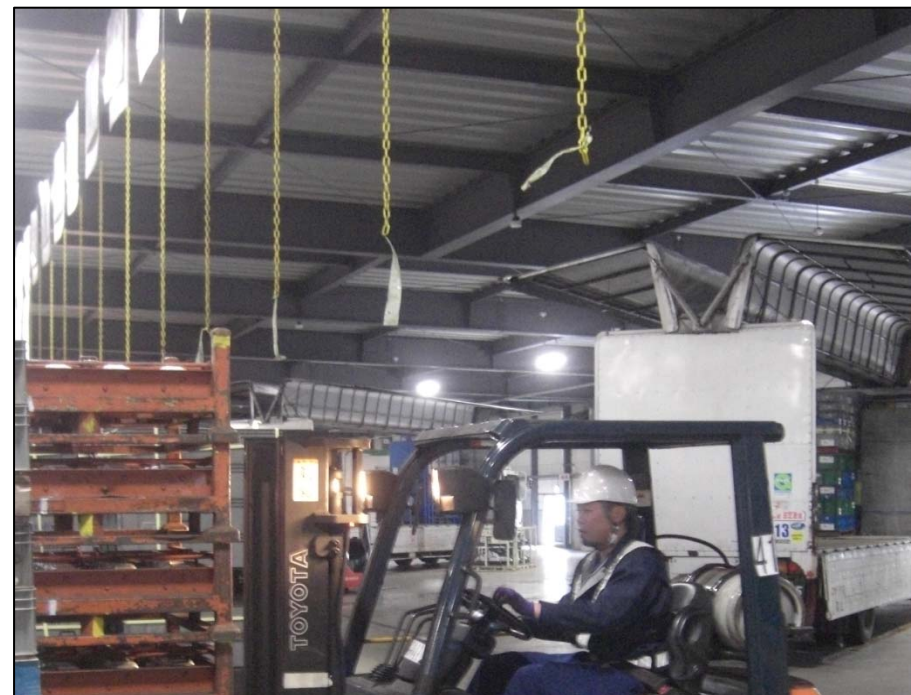
### 3. 職場安全環境づくり ④



## 物流センターでの工夫

見て分かる

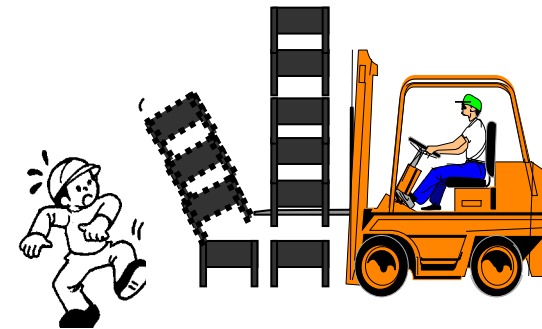
現場作業者は荷台の高さを基準にレーンへ投入する



# 3. 職場安全環境づくり ⑤



## お得意様に提案



取訂2004・D2・24 ヒヤリ・ハット提案		部長 CL GL TL														
記入日 月 日 曜日	工場	作成 年 月 日 登録No. F・Y・I-														
発生日 月 日 (曜日) 時 分 頃 天候 場所 <ヒヤリ・ハット状況概要> <状況略図>	発行人 年 月 日 提案会社No. 会社名 提案者	幹事会社														
<どうするの？どうしたの？>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>調査項目</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1、いつ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2、どこで(工場、受入)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3、誰が</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4、どんな作業をしていた</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5、どうなりそうになった</td> <td></td> </tr> <tr> <td>内容</td> <td>略 図 (出来るだけ危険状態が判るように)</td> </tr> </tbody> </table>	調査項目	内容	1、いつ		2、どこで(工場、受入)		3、誰が		4、どんな作業をしていた		5、どうなりそうになった		内容	略 図 (出来るだけ危険状態が判るように)	6、要望事項他
調査項目	内容															
1、いつ																
2、どこで(工場、受入)																
3、誰が																
4、どんな作業をしていた																
5、どうなりそうになった																
内容	略 図 (出来るだけ危険状態が判るように)															
離職コメント 氏名	7、対策部署回答 回答部署受付 年 月 工場 部署															
改善結果	8、提案会社効果確認 効果確認 年 月 日 会社 部署															
[提案会社] → 幹事会社 → 関連部 → 各工場工務部(対策・回答) → 関連部 → 幹事会社 → 提案会社(効果確認) → 幹事会社 リーダー会社																

原価改善提案書	
提案内容 (該当の場合のみ) 提案者	提案内容 (初回提案) 会社 氏名 提案日
件名	効果
備考	結果
担当者 所属	承認者 所属
提出日	承認日

※ 必要に応じて、関係部署へ一斉に送付し、回答を要する項目

採用 〇 自発提案  
 承認 〇 承認済  
 評価 〇 評価済  
 件数 〇 2004年10月～2005年9月  
 件数 〇 2005年10月～2006年9月  
 件数 〇 2006年10月～2007年9月  
 件数 〇 2007年10月～2008年9月  
 件数 〇 2008年10月～2009年9月  
 件数 〇 2009年10月～2010年9月  
 件数 〇 2010年10月～2011年9月  
 件数 〇 2011年10月～2012年9月  
 件数 〇 2012年10月～2013年9月  
 件数 〇 2013年10月～2014年9月  
 件数 〇 2014年10月～2015年9月  
 件数 〇 2015年10月～2016年9月  
 件数 〇 2016年10月～2017年9月  
 件数 〇 2017年10月～2018年9月  
 件数 〇 2018年10月～2019年9月  
 件数 〇 2019年10月～2020年9月  
 件数 〇 2020年10月～2021年9月  
 件数 〇 2021年10月～2022年9月  
 件数 〇 2022年10月～2023年9月  
 件数 〇 2023年10月～2024年9月



## 4. 現時点での評価まとめ



### 最後に

#### 【評価】

- ・「やらされ感」から「やりがい感」に進化してきている。
- ・全社員が関心を持ち、職場の人間関係が良くなった。
- ・大きな環境変化に対応出来ていない。

#### 【今後の進め方】

- ・不安全行動に対してお互いに注意しあえる安全風土づくり。
- ・粘り強く地道にやり続けることが必ずや将来もっと良くなると信じ継続していきたい。



ご清聴ありがとう  
ございました。

